

山形県内病院における令和5年度看護職員就業状況及び勤務環境調査 結果報告

(山形県看護協会調査)

I. 調査方法

調査期間：令和6年6月1日～6月19日

調査対象：県内66施設の看護管理者に対して調査を実施

II. 回収率 100.0%

III. 調査結果

1. 回答病院の属性

1) 病院の設置主体別施設数

単位：施設

令和5年	設置主体	
	設置主体	施設数
	国公立	28
	医療法人	31
	社会福祉法人	2
	その他法人	5
	合計	66

2) 地域別病床数

単位：施設

令和5年		99床以下	100～199床以下	200～299床以下	300～399床以下	400～499床以下	500床以上
		割合					
令和5年	全体	17	25	9	8	2	5
	割合	25.8%	37.9%	13.6%	12.1%	3.0%	7.6%
	村山	9	10	4	6	1	3
	最上	2	1	1	1	0	0
	置賜	4	7	2	0	1	0
	庄内	2	7	2	1	0	2

2. 看護職員の採用と離職の状況について

1) 正規雇用看護職員の採用数・退職者数

単位：人

令和5年4月1日の正規雇用看護職員数	7,823
令和5年4月1日～令和6年3月31日までの新卒採用者数	343
年度末までに退職した新卒採用者数	22
令和5年4月1日～令和6年3月31日までの既卒採用者数	288
年度末までに退職した既卒採用者数	51
令和5年度の総退職者数	672
令和5年度の定年退職者数	64

※看護職員は、保健師・助産師・看護師・准看護師を指す（看護補助者は含まない）

※契約期間を定めずに雇用されているフルタイム勤務及び短時間勤務の正規雇用看護職員を対象とする（パート、アルバイト、臨時職員、嘱託等は含まない）。

※令和5年4月1日の在籍正規雇用看護職員数は、令和5年4月1日の新規採用者を除いた人数を記入

2) 設置主体別正規雇用看護職員採用の推移

66施設： 国公立-28施設 民間-38施設

平均常勤職員数

● 平均常勤職員数

= [4月1日在籍職員数 (A) + 年度末在籍職員数 (F)] ÷ 2

※年度末在籍職員数 (F) = 4月1日在籍職員数 (A) + 新卒採用者数 (B) + 既卒採用者数 (C) - 総退職者数 (D)

・正規職員には、パート、アルバイト、臨時職員、嘱託職員等は含まない。

・令和4年4月1日の在籍正規職員数は、令和4年4月1日付の新規採用者を除いた人数を記入。

		単位：人									
		平均常勤職員数	4月1日 在籍職員数	総新卒 採用者数	総既卒 採用者数	総退職者数	新卒 退職者数	既卒 退職者数	定年 退職者数	Uターン者数	定める定年
令和3年度	全体	7,873	7,906	328	244	639	30	41	116	55	
	国公立	5,048	5,066	198	55	289	19	8	72	43	
	民間	2,825	2,840	130	189	350	11	33	44	12	
令和4年度	全体	7,676	7,728	333	227	664	31	37	111	35	
	国公立	4,948	4,991	199	78	363	20	6	75	25	
	民間	2,728	2,737	134	149	301	11	31	36	10	
令和5年度	全体	7,803	7,823	343	288	672	22	51	64	57	60.9
	国公立	4,993	4,994	214	75	292	8	6	15	37	60.9
	民間	2,774	2,829	129	213	380	14	45	49	20	60.9

3) 地域別看護職員採用の推移

66施設： 村山地域- 32施設 最上地域- 5施設 置賜地域- 15施設 庄内地域- 14施設

単位：人

		平均 常勤職員数	4月1日 在籍職員数	新卒 採用者数	既卒 採用者数	総退職者数	新卒 退職者数	既卒 退職者数	定年 退職者数	Uターン者数	定める定年
令和3年度	全体	7,873	7,906	328	244	639	30	41	116	55	
	村山	4,340	4,347	179	160	354	21	32	52	30	
	最上	414	416	9	10	23	1	0	11	5	
	置賜	1,339	1,348	76	28	121	4	5	23	1	
	庄内	1,780	1,795	64	46	141	4	4	30	19	
令和4年度	全体	7,676	7,728	333	227	664	31	37	111	35	
	村山	4,179	4,198	185	137	360	13	22	43	19	
	最上	430	433	7	19	32	1	3	12	3	
	置賜	1,330	1,336	78	36	126	16	6	24	3	
	庄内	1,737	1,761	63	35	146	1	6	32	10	
令和5年度	全体	7,803	7,823	343	288	672	22	51	64	57	60.9
	村山	4,269	4,273	198	177	383	15	26	38	27	61
	最上	428	429	10	14	27	0	0	3	7	60.4
	置賜	1,331	1,341	71	30	122	2	4	10	7	61.6
	庄内	1,776	1,780	64	67	140	5	21	13	16	60.4

4) 病院種別看護職就業状況

66施設： 一般病院- 52施設 精神病院- 14施設

単位：人

		平均 常勤職員 数	4月1日 在籍職員 数	新卒 採用者数	既卒 採用者数	総退職者数	新卒 退職者数	既卒 退職者数	定年 退職者数	Uターン者数	定める定年
令和3年度	全体	7,873	7,906	328	244	639	30	41	116	55	
	一般病院	6,920	6,950	312	161	534	29	30	94	53	
	精神科病院	953	956	16	83	105	1	11	22	2	
令和4年度	全体	7,676	7,728	333	227	664	31	37	111	35	
	一般病院	6,685	6,720	311	177	557	31	27	94	33	
	精神科病院	991	1,008	22	50	107	0	10	17	2	
令和5年度	全体	7,803	7,823	343	288	672	22	51	64	57	60.9
	一般病院	6,814	6,823	330	211	560	22	43	39	54	61.1
	精神科病院	989	1,000	13	77	112	0	8	25	3	60.5

5) 定年退職者の採用状況

(1) 定年退職者の採用状況

単位：施設

	施設数	採用割合
採用あり	26	39.4%
採用なし	10	15.2%
対象者なし	30	45.5%

6) 定年退職者の人材活用で利用した制度や実施した事項について（複数回答）

単位：施設

	施設数
定年延長60歳→61歳	11
定年延長60歳→65歳	3
定年延長60歳→75歳 その後は短時間勤務で採用	1
再雇用制度・ 継続雇用制度の導入	12
嘱託職員として雇用	3
会計年度任用職員として 雇用	3
正規雇用として採用	2
再任用短時間制度の導	2
フルタイム・パート勤務の	1
高齢者雇用継続給付金 の活用	1

7) 定年退職者割合の推移

単位：人

	総退職者数	定年退職者数	割合
令和3年度	639	116	18.2%
令和4年度	664	111	16.7%
令和5年度	672	64	9.5%

8) 離職率と年次推移

離職率は、日本看護協会の計算式を使用して算出した。

●常勤看護職員離職率とは、年間の退職者数が平均常勤者数に占める割合

算出方法：常勤看護職員離職率 = 退職者数 (D) ÷ 平均常勤職員数 (G) × 100

※平均常勤職員数 (G) = [4月1日在籍職員数 (A) + 年度末在籍職員数 (F)] ÷ 2

※年度末在籍職員数 (F) = 4月1日在籍職員数 (A) + 新卒採用者数 (B) + 既卒採用者数 (C) - 総退職者数 (D)

●新卒看護職員離職率とは、年間の新卒退職者数が新卒採用者数に占める割合

算出方法：新卒看護職員離職率 = 新卒退職者数 (E) ÷ 新卒採用者数 (C) × 100

(1) 設置主体別離職率

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
正規看護職員 離職率	全体	8.1%	8.7%	8.6%
	国公立	5.7%	7.3%	5.9%
	民間	12.4%	11.0%	13.5%
新卒看護職員 離職率	全体	9.1%	9.3%	6.4%
	国公立	9.6%	10.1%	3.7%
	民間	8.5%	8.2%	10.9%
<参考>日本看護協会：全国平均		令和3年度	令和4年度	令和5年度
常勤看護職員離職率		11.6%	11.8%	-
新卒看護職員離職率		10.3%	10.2%	-

(2) 地域別全体離職率・新人離職率と数

単位：人

	正規看護 職員退職者数	平均 常勤職員数	離職率	新卒 退職者数	新卒採用数	新卒離職率
全体	672	7,803	8.6%	22	343	6.4%
村山	383	4,269	9.0%	15	198	7.6%
最上	27	428	6.0%	0	10	0.0%
置賜	122	1,331	9.2%	2	71	2.8%
庄内	140	1,776	7.9%	5	64	7.8%

(3) 年次別離職率と人数の推移

単位：人

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
正規看護職員 離職率・ 数	離職率	8.1%	8.7%	8.6%
	平均常勤職員数	7,873	7,676	7,803
	総退職者数	639	664	672
新卒看護職員 離職率・ 数	新卒離職率	9.1%	9.3%	6.4%
	新卒採用数	328	333	343
	新卒退職者数	30	31	22

9) 離職状況

(1) 離職理由 (複数回答)

※離職理由の割合については定年退職の数を除いて計算した。

※新卒採用退職者 = 22人 新卒採用以外の退職者 = 650人 総計 672人

理由	退職者		退職理由別人数 n = (人)	割合 (%)
	新卒者の 退職者数 n = (人)	新卒者以外の 退職者数 n = (人)		
1) 定年退職	0	34		
2) 結婚	1	49	50	7.4%
3) 出産・育児・子供のため	0	37	37	5.5%
4) 配偶者の転勤	0	18	18	2.7%
5) 老親の世話・家族の介護	1	23	24	3.6%
6) 家事と両立できない	1	25	26	3.9%
7) 健康上の理由	5	93	98	14.6%
8) 人間関係	0	19	19	2.8%
9) 看護内容への不満	1	8	9	1.3%
10) 給料賃金が安い	0	7	7	1.0%
11) 労働時間への不満	0	3	3	0.4%
12) 夜勤回数が多い	0	2	2	0.3%
13) 残業が多い	0	1	1	0.1%
14) 自分の適性・能力への不安	7	12	19	2.8%
15) 福利厚生	0	0	0	0.0%
16) 継続教育が無い	0	2	2	0.3%
17) 休みがとれない	0	1	1	0.1%
18) Uター	0	3	3	0.4%
19) 通勤困難	0	8	8	1.2%
20) 転居	1	47	48	7.1%
21) 他施設への興味	3	122	125	18.6%
22) 他分野への興味	2	22	24	3.6%
23) 進学	3	3	6	0.9%
24) 技術・医療事故への不安	2	0	2	0.3%
25) コロナ関連の理由	0	0	0	0.0%
26) その他	0	59	59	8.8%
合計		27	598	591

(2) 新卒者の退職理由

単位：人

理由	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
他施設への興味		4	7	3
自分の適性・能力への不安		9	5	7
健康上の理由		5	4	5
その他		4	9	0
他分野への興味		3	0	2
老親の世話・家族の介護		2	0	1
人間関係		1	3	0
出産・育児・子供のため		1	0	0
コロナ関連の理由		1	0	0
Uターン		1	0	0
看護の内容への不満		0	0	1
結婚		0	1	1
通勤困難		0	1	0
転居		0	1	1
進学		0	1	3
技術・医療事故への不安		0	0	2
労働時間への不満		0	1	0
計		27	33	26

* 新卒の退職理由では「自分の適性・能力への不安」「健康上の理由」が多い。

10) 令和5年度における正規雇用職員の臨時採用について

単位：施設

採用した	43
採用しない	23

11) 令和5年度における看護職員の募集・採用について (複数回答)

単位：人

ナースセンター	3
ハローワーク	69
有料職業紹介所・人材派遣会社	103
その他	80

※正規・臨時職員含む

3. 看護職員の人員体制

1) 看護職員就業状況と雇用形態

(1) 看護職員の雇用形態

単位：人

(看護職員数とは、保健師・助産師・看護師・准看護師を含む数をいう)

雇用形態	看護職員	割合
正規雇用職員	7,511	88.3%
短時間勤務	189	2.2%
正規雇用以外	804	9.5%
臨時職員、嘱託職員、アルバイト、パートタイマー、派遣職員		
正規・非正規雇用職員合計	8,504	100.0%

(2) 地域別准看護師・看護補助者の合計とその割合

単位：人

	合計数		正看護師		准看護師		看護補助者	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
全体	10,998		8,504	77.3%	503	4.6%	1,991	18.1%
村山	5,902		4,734	80.2%	197	3.3%	971	16.5%
最上	655		485	74.0%	45	6.9%	125	19.1%
置賜	1,896		1,409	74.3%	74	3.9%	413	21.8%
庄内	2,545		1,876	73.7%	187	7.3%	482	18.9%

※合計数は、正看護師数と准看護師数と看護補助者数を合計した数

(3) 令和6年4月1日現在の正規雇用看護職員数(4月1日採用者を含む)と年齢構成

①設置主体別正規雇用看護職員数と年齢構成

単位：人

	全体	20代	30代	40代	50代	60代	70代
全体	8,040	2,181	1,882	2,190	1,522	257	8
(割合)		27.1%	23.4%	27.2%	18.9%	3.2%	0.1%
国公立	5,271	1,390	1,242	1,449	1,041	149	0
(割合)		26.4%	23.6%	27.5%	19.8%	2.8%	0.0%
民間	2,769	791	640	741	481	108	8
(割合)		28.6%	23.1%	26.8%	17.4%	3.9%	0.3%

②地域別正規雇用看護職員数と年齢構成

単位：人

	全体	20代	30代	40代	50代	60代	70代
村山	4,481	1,313	1,120	1,157	768	120	3
(割合)		29.3%	25.0%	25.8%	17.1%	2.7%	0.1%
最上	408	75	57	139	131	6	0
(割合)		18.4%	14.0%	34.1%	32.1%	1.5%	0.0%
置賜	1,389	396	310	374	251	54	4
(割合)		28.5%	22.3%	26.9%	18.1%	0.4%	0.3%
庄内	1,762	397	395	520	372	77	1
(割合)		22.5%	22.4%	29.5%	21.1%	4.4%	0.1%

③病院種別正規雇用看護職員数と年齢構成

単位：人

	全体	20代	30代	40代	50代	60代	70代
一般病院	7,046	2,009	1,670	1,883	1,285	192	7
(割合)		28.5%	23.7%	26.7%	18.2%	2.7%	0.1%
精神科病院	994	172	212	307	237	65	1
(割合)		17.3%	21.3%	30.9%	23.8%	6.5%	0.1%

④年次別年齢構成の推移

単位：人

	全体	20代	30代	40代	50代	60代	70代
令和3年4月	8,532	2,249	2,088	2,289	1,621	271	14
(割合)		26.4%	24.5%	26.7%	19.0%	3.2%	0.2%
令和4年4月	8,401	2,213	2,100	2,245	1,586	243	14
(割合)		26.3%	25.0%	26.7%	18.9%	2.9%	0.2%
令和5年4月	8,159	2,186	1,961	2,243	1,551	208	10
(割合)		26.8%	24.0%	27.5%	19.0%	2.6%	0.1%
令和6年4月	8,040	2,181	1,882	2,190	1,522	257	8
(割合)		27.1%	23.4%	27.2%	18.9%	3.2%	0.1%

⑤看護職員平均年齢

設置主体別看護職員平均年齢

単位：歳

	平均年齢
全体	41.7
国公立	42.9
民間	40.7

⑥地域別看護職員平均年齢

単位：歳

	平均年齢
全体	41.7
村山	41.1
最上	44.2
置賜	41.4
庄内	42.6

2) 看護補助者の業務について

(1) 看護補助者の勤務時間帯 (複数回答)

①設置主体別

単位：施設

	日勤	早番	遅番	夜勤	短時間
全体	55	62	55	41	27
国公立	23	26	24	10	14
民間	32	36	31	31	13

②地域別

単位：施設

	日勤	早番	遅番	夜勤	短時間
全体	55	62	55	41	27
村山	29	31	27	21	15
最上	4	5	4	3	1
置賜	12	13	12	10	7
庄内	10	13	12	7	4

3) 看護職員の充足状況 (施設数と割合)

	令和3年度 (割合)	令和4年度 (割合)	令和5年度 (割合)
充足している (施設数)	54 80.6%	46 69.7%	60 91.0%
充足していない (施設数)	12 17.9%	19 28.8%	6 9.0%
無回答	1 1.5%	1 1.5%	0 0.0%
不足数 (人)		39	99
			20

n=66

4) 看護補助者の離職状況について

※①看護補助者全体の離職率
令和5年度に退職した看護補助者数÷全体の看護補助者数
※②新採用となった看護補助者の離職率

(1) 看護補助者全体の離職率

単位：%

	令和4年度	令和5年度
離職率 (全体)	9.3	10.1

n=66

(2) 令和5年度新採用になった看護補助者全体の離職率

単位：%

	令和4年度	令和5年度
離職率 (新採用)	9.9	22.5

n=66

5) 看護職員の時間外労働に関する質問

(1) 令和6年3月における時間外勤務時間数

(2) 令和6年3月の夜勤における1か月時間外勤務時間数

単位：施設

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
時間外なし	6	7	7
60分未満	7	7	2
60分～120分	6	11	7
120分～240分	10	7	13
240分～360分	10	7	11
360分～480分	6	8	7
480分～600分	10	6	10
600分以上	12	12	8
無回答	0	1	1

n=66

単位：施設

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
時間外なし	27	24	31
60分未満	21	21	17
60分～90分	8	7	6
90分～120分	2	6	8
120分～240分	3	2	1
240分～480分	6	5	1
480分～600分	0	0	0
600分以上	0	0	1
無回答	0	1	1

n=66

6) 令和5年度看護職員の年次有給休暇取得について

※年次有給休暇：以下年休と表記する。

(1) 令和5年度山形県内66病院における年休取得の状況

年休取得の平均	11.6日
年休取得日数の最大値	19日
年休取得の最小値	4日

(2) 全員5日以上の年休取得ができていますか

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		n=66
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	
はい	60	89.6%	59	89.4%	54	81.8%	
いいえ	7	10.4%	7	10.6%	12	18.2%	

*取得できない理由

- ・個人の基準日が異なるため年度単位で5日を満たせない職員がいるため
- ・コロナ関連で出勤制限が多かったため
- ・スタッフの年休取得が優先となり、師長以上の管理者が取得できていない。
- ・管理職は年休取得が難しい状況

(3) 平均年休取得日数の施設数・割合の推移

単位：施設

	0日	1～5日未満	5～10日未満	10～15日未満	15～20日未満	20日以上	記載なし	n=66
令和3年度	0	0	20	34	12	0	1	
(割合)	0.0%	0.0%	29.9%	50.7%	18.0%	0.0%	1.5%	
令和4年度	0	0	12	39	14	0	1	
(割合)	0.0%	0.0%	18.2%	59.1%	21.2%	0.0%	1.5%	
令和5年度	0	2	12	40	11	0	1	
(割合)	0.0%	3.0%	18.2%	60.6%	16.7%	0.0%	1.5%	

① 設置主体別平均年休取得日数

単位：施設

	0日	1～5日未満	5～10日未満	10～15日未満	15～20日未満	20日以上	記載なし	n=66 (うち国立28、民間38)
国公立病院	0	0	6	19	3	0	0	
(割合)	0.0%	0.0%	21.4%	67.9%	10.7%	0.0%	0.0%	
民間病院	0	2	6	22	7	0	1	
(割合)	0.0%	5.3%	15.8%	57.9%	18.4%	0.0%	2.6%	

② 病院種別平均年休取得日数

単位：施設

	0日	1～5日未満	5～10日未満	10～15日未満	15～20日未満	20日以上	記載なし	n=66 (うち一般52、精神科14)
一般病院	0	1	9	33	8	0	1	
(割合)	0.0%	1.9%	17.3%	63.5%	15.4%	0.0%	1.9%	
精神科病院	0	1	3	8	2	0	0	
(割合)	0.0%	7.1%	21.4%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	

4. 令和5年度の育児休業について

1) 令和5年4月1日～令和5年3月31日に出産された職員数

単位：人

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
出産された職員数	361	363	353

2) 育児休業期間別の人数の推移

単位：人

	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3年	合計
令和3年度	250	104	14	7	375
(割合)	66.7%	27.7%	3.7%	1.9%	
令和4年度	317	123	40	7	487
(割合)	65.1%	25.3%	8.2%	1.4%	
令和5年度	293	228	51	6	578
(割合)	50.7%	39.4%	8.8%	1.0%	
男性	28	0	0	0	28
女性	265	228	51	6	550

3) 令和5年4月1日～令和6年3月31日に育児休業取得対象の男性職員

単位：施設

	令和4年度	令和5年度
いる	18	25
いない	48	41

4. 夜勤・交代制勤務について

1) 病棟の夜勤・交代制勤務の夜勤形態について（複数回答）

単位：施設

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
三交代制（変則含む）	46	49	47
二交代制（夜勤1回あたり16時間以上）	16	19	23
二交代制（夜勤1回あたり16時間未満）	22	19	18
その他	1	0	2

2) 地域別最も多い夜勤体制

単位：施設

	全体	村山	最上	置賜	庄内
三交代制	38	22	2	8	6
二交代制（16時間以上）	17	10	1	3	3
二交代制（16時間未満）	11	1	2	3	5
その他	0	0	0	0	0

n=66（うち村山33、最上5、置賜14、庄内14）

3) 夜勤を行なえる看護職員の人材確保について、行っている取組みについて（複数回答）

単位：施設

	令和5年度
2交代制の検討・導入	32
夜勤手当の増額	3
金銭的インセンティブ	18
夜勤専従看護職員の導入	24
その他	5

※金銭的インセンティブとは、三交代制：9回、二交代制5回以上の夜勤を行なった場合

※その他の内容

- ・期間を決めて夜勤専従になってもらう
- ・夜勤のできる曜日（曜日限定）での勤務

5) 病気休暇取得状況 ※病気休暇：以下病休と表記する。

(1) 病休を取得した看護職員の有無

単位：施設

病休取得の職員あり	62
病休取得の職員なし	4

n=66

(2) 病休を取得した人数

単位：人

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総取得者数	698	1,729	2,416

(3) 病休取得状況の前年度比（複数回答）

単位：人

疾病分類	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
感染症（インフルエンザ、COVID-19含む）		84	1,051	1,640
新生物		59	42	50
血液及び免疫関連の疾患		10	10	6
精神疾患		129	133	160
神経系及び感覚器（眼、耳）の疾患		36	39	53
循環器系の疾患		11	2	10
呼吸器系の疾患		18	22	28
皮膚疾患		11	7	9
骨格系の疾患		126	132	144
腎尿路生殖器系の疾患		22	38	37
妊娠、分娩及び産褥		143	161	186
その他		112	92	111
合計		761	1,729	2,434

(4) 疾病分類ごとの病休取得者数（複数回答）

単位：人

疾病分類	期間	1か月未満	1～3か月未満	3か月以上	合計	取得者に占める割合
感染症（インフルエンザを含む）		1,638	0	2	1,640	67.4%
新生物		12	22	16	50	2.1%
血液及び免疫関連の疾患		3	3	0	6	0.2%
精神疾患		37	55	68	160	6.6%
神経系及び感覚器（眼、耳）の疾患		31	15	7	53	2.2%
循環器系の疾患		5	5	0	10	0.4%
呼吸器系の疾患		26	1	1	28	1.2%
皮膚疾患		9	0	0	9	0.4%
骨格系の疾患		82	45	17	144	5.9%
腎尿路生殖器系の疾患		32	3	2	37	1.5%
妊娠、分娩及び産褥		106	55	25	186	7.6%
その他		84	18	9	111	4.6%
合計		2,065	222	147	2,434	

5. 看護職員の評価・処遇の取組みについて

1) 看護職員の仕事・役割・責任等に見合った評価・処遇（賃金）とするための取組み

	施設数	割合
している	50	75.8%
していない	13	19.7%
今後取り組む予定	3	4.5%

n=66

2) 1) で「している」と回答の処遇改善の内容（複数回答）

単位：施設

	令和5年度
基本給の引上げ	20
決まって支給する手当として支給	30
一時金として支給	1
その他	7

基本給の引上げ 平均：4,568円/月

※その他内容

- ・人事評価の給与反映
- ・業績評価制度
- ・初任給の評価制度

単位：施設

	令和5年度
勤務手当	5
役職手当	14
地域手当	0
業績手当	2
資格手当	10
その他※	15

6. 看護職員の就業状況や勤務状況についての意見・感想

<p>人材確保・ 人材活用</p>	<p>看護補助者の人員不足が、病棟ごとに行なっていたメンブヤー業務を一貫して担当者を設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤希望者の雇用。特に、子育て世代のパート希望者については、雇用確保につながっている事例がある。 ・音声入力への導入の検討による記録時間の削減などICTの活用とタスクシフトシェア ・7時間15分勤務・育休明けの短時間勤務など多様な勤務形態 ・看護補助者の多様な勤務形態・業務内容の検討・ラダーの作成 ・看護学生の実習の受け入れ、県内外看護師養成所への病院説明 ・職員用保育園・病児保育室の併設の検討 ・賃金の見直し ・ホームページの充実やインターンシップ・チャレンジウィークの積極的に受け入れ。 ・寄り添いナース（65歳以上の看護職員）やアシストワーカーの採用、定年退職者・継続雇用期間終了者の採用 ・メンタル不調をきたすスタッフが多いが、自己効力感が関係していることが多い。
<p>夜勤の 人材確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夜勤帯の看護学生の雇用 ・夜勤手当の引上げ、9回夜勤者への金銭的インセンティブを与えるなどの取組み ・社会的にも夜勤をしなくても生活はできる環境になったか。出産と子育ての方が増えると突発休も増え、フルで活動できる看護師にしわ寄せが出てきて少々不満の声もある。
<p>要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模な病院や医院、施設等のための職場説明会が別枠であれば良い ・育休復帰後の夜勤を行なわない職員が増えている。また、子育て支援の休暇が充実する反面、支える看護師の負担が多い。預けて働ける仕組み・環境の取組みが急務。 ・看護職員の見合った評価・処遇とするために、山形県として継続した取り組みを希望。 ・夜勤手当アップを要望したところ、自治体病院は一律の手当であった。民間病院との差が大きくなっている中で全体の課題として取り組む必要がある。 ・委員会活動、研修参加などの時間調整。 ・I C T 活用は重要であるが、具体的な導入方法や活用分野について学ぶ機会を設けていただけたらと思う。 ・出産、育休により人員減で業務継続に対する評価があれば良いと思う（出産、育休で人員が減ることにより現場の業務負担感が増すために人員を確保する必要があるが、そこには何も評価はない）。